

# 早明浦ダム水源地域ビジョン

水源地域を活力に満ちた地域とするための計画



従来、ダムは、洪水調節、利水など主に下流地域の洪水被害の軽減や産業経済の発展や快適な市民生活のための利用に関心が向けられていました。

21世紀のダムにおいては、これらのダムの効果に加えて、水源地域の豊かな自然、伝統文化、地域性豊かな物産等を活用した水源地域の振興を図り、流域としてバランスのとれた発展が期待されています。

このため、地元自治体を始めダム管理者などの関係者で吉野川（早明浦ダム）上流域対策推進懇話会を組織し、住民の意見を求め、ダムを活かした水源地域の自立かつ持続的な活性化を図るための水源地域ビジョンを策定しました。

吉野川（早明浦ダム）上流域対策推進懇話会

## 早明浦ダム水源地域ビジョン策定の背景

水源地域は、山間部であることによる生活の不便さや自然の厳しさ、さらに、主要産業である林業の衰退等により、若者が流出し過疎化・高齢化が進行し、活力が低下している現実があります。また、森林の荒廃は、土壌流失・保水力低下や山腹崩壊の誘因となり、ダムにとっては、濁水や堆砂で環境が悪化しています。

このような深刻な問題を抱える水源地域の住民は、①水源地域の保有資源（雄大な自然、四季折々の美しい景色、地域性豊かな文化や物産など）を最大限に活用しながら、自然環境や地域の文化、伝統、素朴な風土を継承するなど地域の特徴を伸ばし、誇りを持つこと、②基幹産業である林業を再興させ経済的に自立し活気あるまちにすること、また、③上下流のお互いの立場を理解した上での持続性・発展性のある交流、さらに、④暮らしの安全・安心の確保等を望んでいます。

## 早明浦ダムの水源地域ビジョン

水源地域ビジョンは、地域の人々が生き生きとした暮らしを実現し、地域全体が活力に満ちたものにするため、地域住民の意向を踏まえ、自立的・継続性のある実行可能な行動計画書を策定しました。なお、行政は、この活動を側面から支援する事業を行います。

### 計画決定に至るまでの懇話会の活動

ダムを活用した水源地域活性化を目指して、平成13年2月27日、水源地域の関係者で懇話会を設立し、水源地域ビジョンを策定し、今後これを推進することになりました。

懇話会の活動は、地域住民や圏外からの来訪者および下流受益地の人々へのアンケート調査、地区のリーダーへのヒアリング等で地域の現状や意向を把握することから始めました。平成13年6月2日には嶺北水源地域総合整備シンポジウムを開催して意見交換を行い、その後、実務担当者でビジョンの内容について協議を重ね、平成14年2月22日の懇話会でビジョンを決定しました。

### 【懇話会メンバー】

土佐町 大川村（事務局）  
高知県  
国土交通省四国地方整備局  
農林水産省四国森林管理局  
水資源開発公団吉野川開発局

## 水源地域ビジョン全体計画

懇話会では、最終目標を「住民が自ら築く水源地域の未来」を掲げ、地域の意向から発した活性化メニューをとりまとめました。

### 住民が自ら築く水源地域の未来



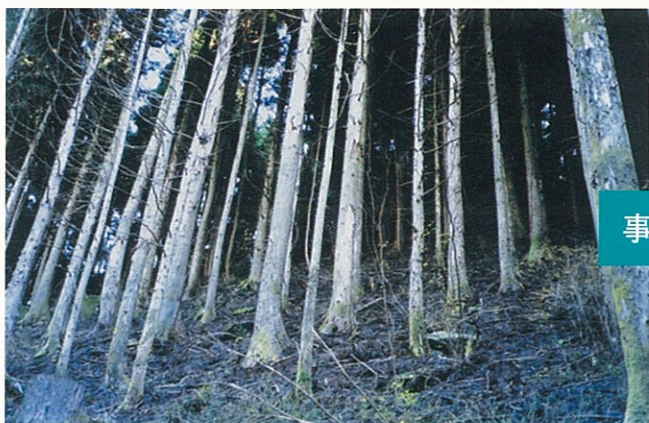
※赤字は重点事業

なお、事業は、地域住民が主体となり、関係機関が連携して、必要予算を確保して実施します。経済活動の活性化では持続的に維持管理費や運転資金が回収されるものに限られます。

# これから重点的に行っていく活性化事業

## ① 森林の整備を推進します。

地域の基幹産業である林業の活性化を図るため、関係機関が協力して、間伐、枝打ち、植林などの森林整備や森林管理・木材運搬のための作業道の建設を推進するとともに、木材・間伐材が利用促進されるための方策を検討していきます。また、土砂流出の防止や流木災害の防止に資する健全な森林を育成し、水源地域の森林保全の重要性への認識を高めます。

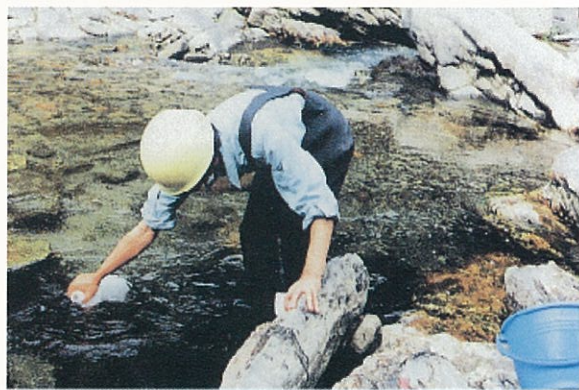


事業後



## ② 地域環境の研究、結果を交流に役だてます。

水源地域を、地域づくり・人づくり、さらに、地域活性化のモデルと見据え、あらゆる角度から山地、水源地域に関する調査研究を試みます。水源地域のあり方に係る幅広いテーマを設定し、大学や研究機関等の多数の参加を求め、連携協力して調査研究活動を行ないます。また、このケーススタディの結果を四国「山地水源地域学」として各方面に発信するとともに、地元に対しては、この交流を通じて地域の誇りを醸成し地域の活性化に寄与する仕組みを考えていきます。



## ③ 下流域の小・中学生に理解を深めてもらう体験学習を推進します。



水源地域の現状、森林保全の重要性を理解して頂くため、次世代を担う下流域の小・中学生を対象に、自然資源や地域の人材を活用し、NPO等の活動と連携し、水源地域の自然と人とダムの係わりを学ぶ総合学習の体験フィールドを提供します。また、交流機会の増加を地域の活性化にもつなげます。

#### ④ ダム湖の有効利用を計画していきます。

早明浦ダムの見学者や地域交流は、平成6年夏の大渇水を契機に増加しています。今後は、四国最大の湖である早明浦ダムを観光資源として更に有効に利用し、豊かな大自然にひたる散策道や観察施設、上下流住民の交流の場として多彩なイベント、雄大な水面を利用したのボート・カヌー等のレジャー、多数の支川が流れ込み変化に富む湖岸での釣りなど、周辺施設整備の具体的なメニューを検討します。また、これらダム湖を核とする地域交流の促進や地域活性化等から、地域の誇りとしてプラスイメージを醸成します。



#### ⑤ 上下流交流のためのNPO等組織を育成、支援を行っていきます。



いままでに既に芽生えている上流組織（れいほくNPO）と下流組織（“新町川を守る会”や“どんぐり銀行”など）の交流が更に促進されるように、上流組織の活動支援や山里案内人の組織化等、側面的な支援を行っていきます。



#### おわりに

早明浦ダムの水源地域は、今後、このビジョンを実現するため、地域住民や地元自治体、関係機関等が力を合せ協働で事業することになりますが、ダム下流の自治体や住民も、治水・利水などの効用を将来にわたり受け続けるために、水源地域への理解と事業への協力・支援をお願いします。